

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

項目番号	カテゴリ	チェック項目	環境・社会・経済分野の区分			取組レベル	取組事項に○をつけてください	【非該当】の場合、選入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
			環境	社会	経済					1 人々の平和と正義	2 気候変動	3 健康と福祉	4 質の高い教育	5 ジェンダー平等	6 清潔な水と衛生	7 再生可能エネルギー	8 持続可能な成長	9 産業、イノベーションとインフラ	10 人や国の不平等の削減	11 持続可能な都市とコミュニティ	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸域生態系	16 平和と正義	17 パートナーシップ
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	○			基本（必須）	○		・性別、年齢、障がい、国籍、出身による差別が発生しない雇用に努めている。					●			●		●						●	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備し、ハラスメントがないことを確認している	○			基本（必須）	○		・セクシュアルハラスメント、マタニティハラスメント、パワーハラスメントの禁止、防止、対策について就業規則に定めている。					●			●								●	
3		【ワーク・ライフ・バランス】 ・過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワーク・ライフ・バランスを推進している	○			基本（必須）	○		・社員の就業時間や休日出勤時間を管理して、長時間労働の防止に取り組んでいる。					●			●									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認するとともに、日本語教育の充実や地域住民との交流促進など、受入環境整備に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		・雇用する外国人従業員に対し、「やさしい日本語」による就業環境や業務の研修を実施し、定期的に困りごと等について、確認する面談の機会を設ける。【予定】				●				●		●							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		・定期的に工事現場の安全パトロールを実施し、現場の安全確認と安全啓発を実施している。 ・安全運転管理者の設置をしている。			●					●									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		・全従業員にストレスチェックを実施し、結果に基づき社員の希望した場合、医師との面談を受ける。【予定】			●														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		・育児休業規程、介護休業規程、時間外労働等により働きやすい環境整備に取り組んでいる。 ・65歳定年以降の再雇用を実施している。					●			●		●							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	○			基本（必須）	○		・職務内容や経験に応じて、研修会や講習会へ参加させている。 ・従業員のモチベーションを上げるための社員表彰制度を導入して成果をたたえている。				●	●			●	●								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	○			基本（必須）	○		・働き方改革関連法などの関係法令の内容を理解し、従業員の公正な待遇を行っている。					●			●		●							
10		【就業制度の改善】 ・子育てなど一人ひとりのライフスタイルに合わせた就業制度の導入、ワークライフバランスの実現に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		・始業時刻の変更等、テレワーク、短時間勤務制度の仕事と育児の両立支援措置を導入し、取り組みを進めている。	●		●		●			●		●						●	
11		【男性育児の取得推進】 ・男性の育児休業が取得しやすい職場環境づくりに努め、子育てと仕事の両立に積極的に取り組めるよう、有給休暇制度等を設けている	○			基本（必須）	○		・既存社員による業務の玉突き配置を構築している。 ・周知・相談窓口設置で男性の取得を積極的に支援している。			●		●			●		●							
12	環境	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	○			チャレンジ（任意）	○		・協会けんぽのいがた健康経営に参加し、取り組みを進めている。 ・人間ドックの費用補助を行っている。			●					●									
13		【生活困窮者の雇用・生活支援】 ・ひとり親、就職氷河期の非正規雇用者、失業者など生活困窮者の採用、生活環境改善の支援、職能・人材育成に積極的に取り組んでいる	○			チャレンジ（任意）	○		・県の「新潟県・新潟市ひとり親家庭等就業・自立支援センター」に事業所登録している。	●	●	●		●			●		●						●	
14		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		・社内で発生するごみを分別し、分別ルールの周知徹底を行っている。										●	●		●				
15		【エネルギーの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本（必須）	○		・算定ツールを利用して自社の温室効果ガス排出量を把握している。							●					●		●			
16		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、CO2の削減など排出の抑制に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		・クールビズ、昼休みの消灯を実施している。						●					●	●					
17	環境	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、適切に使用している。			●			●					●	●					

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	環境・社会・経済 分野の区分			取組 レベル	取組事項に ○をつけて ください	【非該当】の 場合 選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																										
18	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本 （必須）	○		・廃棄物の適正な処理により、生物多様性保全に配慮している。 ・環境に配慮した製品、土木の工法を積極的に採用し、生物多様性、環境保全に配慮している。							●							●	●		
19		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	○			基本 （必須）	○		・掘削土の削減、廃棄物の分別及び再資源化等により資源の循環に取り組んでいる。 ・詰め替え可能な文具を利用している。									●		●						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・自家消費型再生可能エネルギーの利用に取り組むとともに、省エネの促進に取り組んでいる	○		○	基本 （必須）	○		・現場事務所にソーラー防犯灯を設置し、太陽光で発電した電気を利用している。							●			●							
21		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	○			チャレンジ （任意）									●											
22		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	○			チャレンジ （任意）						●			●	●			●	●	●					
23		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	○			チャレンジ （任意）													●							
24		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の保全と持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	○		○	チャレンジ （任意）									●		●	●	●	●						
25	公正な 事業 慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知し、徹底している	○			基本 （必須）	○		・不正取引を行った社員については、会社として厳正な対応をすることを朝礼等で繰り返し発信し啓蒙する。															●		
26		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知し、徹底している	○			基本 （必須）	○		・不正競争行為等の防止について朝礼等で繰り返し発信し啓蒙する。															●		
27		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	○			基本 （必須）	○		・知的財産についての理解を浸透させ、権利侵害が発生しない様になっている。								●	●								
28		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	○			基本 （必須）	○		・従業員名簿その他個人情報に係るものは、鍵のかかる棚にて保管し、データはパスワードをかける等の管理をする。															●		
29		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	○		○	チャレンジ （任意）																		●		
30		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	○	○		チャレンジ （任意）	○		・協力会社との対話促進し、安全・健康・倫理面の教育訓練（講習会等）を定期的の実施している。 ・すべての取引において反社会的勢力の排除している。					●			●		●	●	●	●	●	●	●	
31		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/		○		チャレンジ （任意）						●					●	●	●					●		

項目 番号	チェック項目	環境・社会・経済 分野の区分			取組 レベル	取組事項に 〇をつけて ください	【非該当】の 場合 選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
		環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																									
32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			○	基本 （必須）	○		・製品、サービス（施工）の安全管理体制を構築し、定期的な安全管理確認を行い安全確保に努めている。				●						●							
33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している			○	基本 （必須）	○		・品質管理体制を構築し、定期的な品質検査の実施する等の管理をしている。										●							
34	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	○		○	チャレンジ （任意）	○		・設計・施工検討時、周辺環境に配慮した製品や自然素材（土石、木材）を活用する。						●						●	●	●	●		
35	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		○	○	チャレンジ （任意）	○		・建設業界の熟練労働者の人材不足に対し、ICTを活用した労働生産性の向上を目指した取り組みをしている。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
36	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している		○	○	基本 （必須）	○		・地域との対話・職場見学会などを実施し、対話に基づき、事業の地域への影響の把握を行い改善に努めている。									●		●	●	●	●		●	
37	【社会貢献活動】 ・寄付、地域活動への参加など持続的な社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		○	○	チャレンジ （任意）	○		・地域の次世代を担う人材（学生・子ども等）への交流・育成機会を提供している。 ・市の消防団協力事業所表示制度に加入している。 ・被害者支援自動販売機を設置し、新潟被害者支援センターに被害者支援している。										●				●	●	●	
38	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地消、地産外商）している		○	○	チャレンジ （任意）	○		・県産材利用を推進する取り組みをしている。									●	●		●	●	●			
39	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している		○		基本 （必須）	○		・経営理念を明文化している。 ・経営者が理念を持ち、適時、経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している。									●	●						●	
40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している		○		基本 （必須）	○		・法令遵守について、法令遵守規程を定めるとともに、朝礼や教育時等における指示及びその徹底を図っている。																●	
41	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している		○		基本 （必須）	○		・組織は総務部、土木部に分かれており、各部において社会・環境に及ぼす事例があった際には速やかに報告をするとともに主として総務部が対応している。																●	
42	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）		○		基本 （必須）	○		・お客様をはじめ、市や商工会議所等の地域ステークホルダーとのコミュニケーションにより、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、対応している。																●	
43	【DXの推進】 ・デジタル技術を積極的に活用し、職員等の業務効率化や生産性向上に積極的に取り組んでいる		○	○	基本 （必須）	○		・DXの推進プランを策定し、必要な機器、システム導入を進めるとともに、職員への研修を実施している。				●					●	●							
44	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、職場安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している				チャレンジ （任意）																			●	
45	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		○		チャレンジ （任意）																			●	
46	【事業継続】 ・過去の地震や水害などを教訓として事故や災害、さらにサイバー攻撃などの発生における事業継続計画を立案している		○		チャレンジ （任意）													●		●				●	
47	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		○		チャレンジ （任意）												●	●						●	

上記以外で設定した取組項目																		
独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組の「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、【予定】と補記してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、「チェック項目」に関する具体的な取組を記載してください。